

2021年度

シェイクスピア祭

2021年4月24日(土) 13:00~16:30

一般公開・Zoom開催

お申し込みはこちらをクリックしてください。

13:00~ ご挨拶 **リアル配信**

13:10~ **講演** **録画** 「役者の口跡と演技の変容
～ルネサンス期少年劇団から
フランケンシュタインのモンスターまで～」

講師 **原 英一氏**

(東北大学名誉教授
元東京女子大学教授)



14:30~ 講演の質疑応答 **リアル配信**

15:00~15:15 休憩

15:15頃~ **戯曲リーディング** **録画**

『ヘンリー四世』のいくつかの場面より

新訳・演出 **河合 祥一郎氏** (東京大学教授)

16:20~ 閉会の辞 **リアル配信**

主催：日本シェイクスピア協会・日本英文学会

日本シェイクスピア協会ホームページ <http://www.s-sj.org>

講師プロフィール

原 英一(はら えいいち)氏

東北大学名誉教授 著書・論文に『〈徒弟〉たちのイギリス文学——小説はいかに誕生したか』(単著)、『シェイクスピア・プリズム——英国ルネサンスから現代へ』(共著)、『ゴルディオスの絆——結婚のディスコースとイギリス・ルネサンス演劇』(共著)、「ジョンソン劇の「かたち」と「レヴェルズ」——『みなそれぞれにヒューマー抜け』を解剖する——」(*Shakespeare Journal*, Vol.2 (55), 2016)

講演概要・出演者

『ヘンリー四世』のいくつかの場面より

『ヘンリー四世』は、1402年(本来の王位継承者モーティマー卿がウェールズで捕虜となった年)から、ヘンリー四世の病死後、皇太子であるハル王子がヘンリー五世として即位する1413年までを描きます。主筋は、熱血漢ホットスパーの異名をとるハリー・パーシーがその義弟モーティマー卿の身代金を要求、王に拒絶されたことを契機に父ノーサンバランド伯や叔父ウスター伯らとともに謀叛を起こし、王と対立する様を描きます。副筋は、放蕩三昧のハル王子が付き合う太った騎士サー・ジョン・フォールスタッフの滑稽を描きます。

女将クイックリーほか



仙崎 貴子

ヘンリー四世・ホットスパーほか



白川 哲次

ハル王子ほか



梶原 航

パーシー夫人・ポインズほか



北澤 小枝子

フォールスタッフほか



坂川 慶成

ドル・テアシートほか



今井 仁美

「シェイクスピア祭」は、シェイクスピアの記念日4月23日を祝して、日本シェイクスピア協会と日本英文学会が共催する催しです。

日本シェイクスピア協会員でなくてもご参加・ご視聴いただけます。